

網走ほんりゅう教組

第396号
網走教職員組合
〒090-0836
北海道北見市東三輪83-35
TEL 0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
3月19日

第22回 網走教組定期大会

「学校づくりの基本」を実践的に生かそう!

第二二回網走教組定期大会が、三月二日(土)北見市民会館で行われました。今回の大会は、勤務実態調査や体罰アンケート実施などにより学校への不信感が広がる情勢の中、私たちの「学校づくりの基本」の重要性を確認していくためにも大切な大会となりました。



今回は、代議とのこと。祖父の員制を廃止し全財産を売却して何とか進学が可能に組合員参加で行なった。また、小学校では、「歯がう二回目の大会痛くても、保険証がないため歯医者でしたが、一四に行けない。目が悪くなっても、眼名ほどの組合員鏡が作れない。」との報告がありました。七名)がありました。参加者の



出足が鈍かった昨年の大会と比べると、今年の大会は組合員の出席率が高く、その理由として、各支部の働きかけが大きかったと思います。また、討論も活発に行われ、これを見ても今年度の支部活動がいかに充実していたかがうかがわれます。

執行部からの提案のあと、質疑と討論を行いました。討論の柱は三つ。一、今年度の網走教組の取り組みについて
・組織強化・各種署名・教育活動・網走教組の活動
二、子ども達、教職員の実態について・子ども達との関わりの様子

子どもの進学の問題について、中学校の先生から、次のような発言がありました。
「高校進学を決めていたが、家庭の状況で進学を断念。母親も、その方が助かる」



組織強化では、「MLに参加し、情報が入ってくるようになり、組合活動に前向きになれた。みんなも入って交流できればよい。」という力強い発言の後、各支部の状況が語られました。

・定例で支部会議を行うようになり、組合費もスムーズに集められた(北見支部)
・月一回、学校の様子や情勢の学習を行っている。組合費は100%(遠軽支部)
・月一回集まるとういうことやってきた。メールやお便りも出している。(網走支部)
・なかなか集まれないが、集まった時は学校の様子を交流している。(紋別支部)
これらの発言から、今年度重点としてきた組織強化の成果がうかがわれます。網走教組の発展を支えているのは、それぞれの支部活動の充実だということが確認されました。また、「子ども達の教育を守るという観点での合意を教職員や保護者の中に広げることが大切だ」ということも確かめ合うことができたのは、大きな成果でした。
目の前の子どもたちのために、つながり切らずに向き合っていくという共通意識が今回の大会の中から生まれ、網走教組の「学校づくりの基本」を実践的に取り組んでいくことを再確認できた大会でした。

13年度網走教組新本部役員

一三年度網走教組新本部役員が、退会の中で次のように決定・承認されました。

- 委員長 大坪 哲也(北見西小)
- 書記長 和田 朗(北見支援学校)
- 書記次長 山本 仁史(北見西小)
- 会計 若狭 美喜子(生田原小)
- 会計監査 丸尾 恵(望の岡分校)

まじくお願い致します

「学校づくり申し入れ書」の学習を!

定期大会で確認された、「学校づくりの申し入れ書」の学習を、3月の支部会議の中で行いましょう。「学校づくりの申し入れ書」は、学校運営の方向性を決めるための基本です。4月に入ったら早急に校長に対して申し入れを行いましょう。そして、一致できるところから具体的に実践していきましょう。

お知らせ 5月11日「まなびバ」
北見西小 10時から